

なるほど!
ザ・ファンド

Q & A

Vol.158

Q.

最新の世界経済の成長見通しはどうなっていますか？

A.

IMFによると、2023年は前年よりも経済成長が減速するものの、その後は徐々に勢いを取り戻し、2024年は+3.0%の経済成長率となる見込みです。

◆ 国際通貨基金（IMF）が2023年4月に公表した世界経済見通しによると、**世界全体の経済成長率は、2022年の+3.4%から、2023年は+2.8%と一たん減速するものの、2024年は+3.0%と徐々に勢いを取り戻していく**と見込まれています。ただしこれは、コロナ禍前の10年間の平均値（2010～2019年：+3.7%）と比較してなお低い水準となっています。

◆ 先進国では、欧米をはじめとする主要国での継続的な利上げの影響により、**2023年、2024年は1%台の成長に減速**する見込みです。特に、欧州主要国では、2024年の経済成長率は前回1月見通しから軒並み引き下げられました。また日本の経済成長率は、2023年は前回見通しから0.5%引き下げられたものの、2022年を上回る+1.3%と見込まれています。

◆ 新興・発展途上国では、2023年には、ゼロコロナ政策終了に伴う経済再開によって中国が+5.2%の成長と予想されるほか、インドも+5.9%と引き続き高い成長が続く見込みです。**2024年も、中国やインドが全体をけん引する形**で、新興・発展途上国全体では+4.2%の成長が見込まれています。

IMFの世界経済見通し（2023年4月）

年	2022 (実績)	2023 (予想)	2024 (予想)	前回見通しからの 修正幅（ポイント）	
				2023	2024
世界GDP	3.4	2.8	3.0	▲ 0.1	▲ 0.1
先進国	2.7	1.3	1.4	0.1	0.0
米国	2.1	1.6	1.1	0.2	0.1
ユーロ圏	3.5	0.8	1.4	0.1	▲ 0.2
ドイツ	1.8	▲ 0.1	1.1	▲ 0.2	▲ 0.3
フランス	2.6	0.7	1.3	0.0	▲ 0.3
日本	1.1	1.3	1.0	▲ 0.5	0.1
英国	4.0	▲ 0.3	1.0	0.3	0.1
オーストラリア	3.7	1.6	1.7	▲ 0.3	▲ 0.1
新興・発展途上国	4.0	3.9	4.2	▲ 0.1	0.0
中国	3.0	5.2	4.5	0.0	0.0
インド	6.8	5.9	6.3	▲ 0.2	▲ 0.5
ロシア	▲ 2.1	0.7	1.3	0.4	▲ 0.8
ブラジル	2.9	0.9	1.5	▲ 0.3	0.0

(注1) 表中、単位は前年比、%。2023～2024年はIMF予想。

(注2) 前回見通しは2023年1月、オーストラリアのみ2022年10月。

(出所) IMFのWorld Economic Outlook Apr.2023 を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

＜ご留意いただきたい点＞

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただきます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■リスク性商品を中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行店頭の商品の説明書等を必ずご覧ください。